

IV 令和7年度普通会計の決算状況

普通会計とは、地方公共団体の財政状況の把握や財政比較等のため、統計上統一的に用いられる会計単位で、公営事業会計以外の会計を一つの会計としてまとめたものです。

本市では、一般会計のみを普通会計とし、公営事業会計で整理すべき歳入及び歳出を控除して正味の決算額(純計決算額)を算出しています。

1 普通会計決算規模及び決算収支

令和7年度の普通会計決算額は、歳入816億653万3千円、歳出795億2048万1千円となり、前年度に比べ、歳入6億5362万2千円(伸率+0.8%)、歳出8億4240万2千円(伸率+1.1%)がそれぞれ増加しました。

この結果、歳入歳出差引額(形式収支)は、20億8605万2千円で、この形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源1億9812万円を控除した実質収支は、18億8793万2千円となりました。

なお、実質収支(剰余金)は、その1/2以上を財政調整基金に積み立てるなど次年度以降の財源調整に活用しています。

第9表 普通会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和7年度 a	令和6年度 b	比 較	
				a-b	a/b×100
歳 入 総 額	A	81,606,533	80,952,911	653,622	100.8%
歳 出 総 額	B	79,520,481	78,678,079	842,402	101.1%
歳入歳出差引額 (A-B)	C	2,086,052	2,274,832	△188,780	91.7%
翌年度へ繰り越すべき財源	D	198,120	586,481	△388,361	33.8%
実 質 収 支 (C-D)	E	1,887,932	1,688,351	199,581	111.8%
単年度収支 (E-前年度E)	F	199,581	△111,456	311,037	-
財政調整基金積立金	G	867,687	909,599	△41,912	95.4%
〃 取崩額	H	751,302	1,329,507	△578,205	56.5%
市債繰上償還金	I		22,972	△22,972	皆減
実質単年度収支 (F+G-H+I)	J	315,966	△508,392	824,358	-